

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
クロコノマチョウ	タテハチョウ科	比較的大型のジャノメ 地味すぎて目立たない	X	X	○	関東以南



川崎市 7月21日 (2020年) ♂夏型 クヌギの樹液



川崎市 9月30日 (2020年) ♂秋型

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
ススキ、ジュズダマほか			2~3			成虫					

余り目立たない大型のジャノメチョウですが、薄暗い林を飛び、樹液・腐果などを訪れ花で吸蜜することはありません。

暖地の蝶で温暖化に伴い北上し生田緑地に定着し始めて随分時間は経ちますが、それほど増えているということもなく、むしろ見かけるのはまれです。幼虫はススキ、ジュズダマといったイネ科植物を食しますが一風変わった雰囲気の色、色合いです。

南方系のよく似たジャノメチョウにウスイロコノマチョウがいますが、このあたりには分布していません。



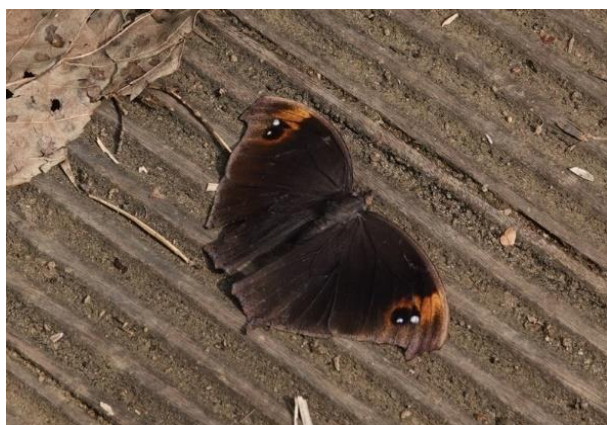
調布市 終齢幼虫 6月13日 (2019年)



川崎市 前蛹 9月30日 (2020年)



川崎市 蛹 9月30日 (2020年)



川崎市 10月31日 (2019年) 殆ど翅は開かない



川崎市 9月30日 (2020年) ジュズダマ 蛹(手前)と終齢幼虫



中野島 10月16日（2020年）終齢幼虫を飼育した個体が羽化。飛翔力が怪しいので結局、バルコニーから飛ばすのはやめ
ふるさとまで送ったうえで放した



ウスイロコノマチョウ 石垣島 観音崎 10月12日（2020年）枯葉の中にとまられると見つかるのは不可能に近い